

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：商工費 目：商業振興費

事業名 ECサイトを活用した県産品の販売促進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 県産品流通支援課 県産品振興係 電話番号：058-272-1111 (内 3098)

E-mail : c11370@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 24,100 千円 (前年度予算額：24,100 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	24,100	0	0	0	0	0	0	0	24,100
要求額	24,100	0	0	0	0	0	0	0	24,100
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、県への観光客数が減少し、土産物の販売数も落ち込んでいる。
- ・県産品販売・情報発信拠点「THE GIFTS SHOP」では、新型コロナウイルスの感染対策となる新しい生活様式への対応を進めることとしている。
- ・ECサイトの売上拡大を図るとともに、今日市場規模を伸ばしているEC市場に単独で参入できていない県内事業者の商品のEC販路拡大を支援する。

(2) 事業内容

① 「THE GIFTS SHOP」のEC市場におけるテストマーケティング事業

「THE GIFTS SHOP」は、単独でEC事業を展開できない県内事業者の商品をEC市場へ展開する役割を担っている。EC市場でのテストマーケティングを行うことで、県産品の新たな販路を開拓するとともに、期間限定販売等のPRを行うことでTHE GIFTS SHOPの売上向上を図る。

② 大手ECサイトでのWEB物産展

EC市場において県産品を販売している県内事業者支援するため、大手E

Cサイトにて県産品を対象としたWEB物産展を開催する。

③第三セクターと連携した県産品の販売促進事業

岐阜県名産販売のECサイトで販売フェアを開催し、単独でEC事業を実施できない事業者に対して、EC市場を通じた県産品の販路拡大を図る。

(3) 県負担・補助率の考え方

・新型コロナウイルスの蔓延により県内事業者への影響は多大であり、新しい生活様式の普及による県産品の販路拡大を図るものであり県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	60	職員業務旅費
需用費	46	事務用消耗品
役務費	80	通信運搬費
委託料	23,914	業務委託料
合計	24,100	

決定額の考え方

「途中経過」または「予算案の決定（知事査定後）」
の公開の際に記載します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

新型コロナウイルス感染症非常事態総合対策

3-3 販路拡大など更なる成長に向けた支援

事業評価調査（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・拡大するEC市場において、県産品の販路拡大を図るとともに、県産品の魅力を発信する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R2)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R5)	
					目標	達成率
THE GIFTS SHOP EC売上額（月平均・ 千円）	158	-	500	1,000	1,500	15%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	
令和 3 年度	<p style="color: red;">令和5年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>
令和 4 年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価)	E C市場が拡大する中、THE GIFTS SHOPにも県産品のE C販売拠点としての機能強化が求められている。
3	
<p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価)	
<p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価)	

(今後の課題)

E C事業においては、広告・割引による急速な販路拡大が難しく、継続的な取り組みが必要である。
--

(次年度の方向性)

単独でE C事業に参入できていない県内事業者の商品を発掘し、テストマーケティングなどにより THE GIFTS SHOPを通じたE C展開を図る。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	